

## 芦屋市立地区 集会所の指定管理者の指定について

本委員会の審査にて承認となりました第79号議案『芦屋市立地区集会所の指定管理者の指定について』**私は集会所の在り方について質問致しました。**

・集会所の老朽化に伴い、新たに設備を整える必要のある集会所はありますか?と市にお聞きしたところ、翠ヶ丘集会所では、令和5年12月から令和6年にかけて多目的トイレの工事を行っている。との回答を頂きました。

※私の要望として、集会所の活性化の為に集会所の運営業務である市民への周知・啓発について各集会所の利用方法の詳細、利用時間、利用料金、休館日等の記載されたご案内を適宜、発信してほしい。とお伝えしました。

・市からは集会所の運営について、高齢化が懸念され無償ボランティアにも限界があり、今後引継ぎがスムーズに行われるのか…。という不安な声も聞きました。そのような状況に直面し、今後の各自治会の存続・継続について町内会の皆さんと共に積極的に話し合う機会を作っていく必要があると思っています。市民の皆さんにとって各町内の集会所の様々な運営の活性化を今後も望んでいきたいです。

### 活動参加

令和6年1月8日(月) 芦屋市二十歳のつどい参加  
令和6年1月14日(日) 芦屋市消防出初め式参加



### 原なつ子 連絡先

TEL・FAX 0797-35-1639 ✉ swimmer@ashiya.haranatsuko.com

SNSでも情報発信しております。ご意見やご相談など、ぜひお気軽にお聞かせください!

ホームページ



Facebook



Instagram



X (旧Twitter)



YouTube



E-mail



# 原なつ子 2024年2月発行 市議会報告

芦屋市議会議員1期目 / 無所属 / あしや政風会



## 総務常任委員会 行政視察報告 (2023/11/14)

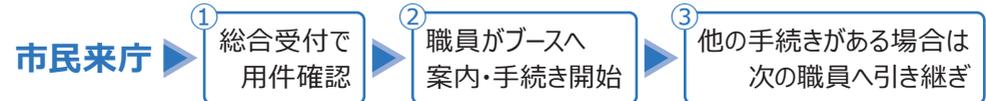
千葉県市川市役所で行政視察調査を行ってきました。テーマは、

### 「DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進について」

市川市のDXとは、デジタル化を進めるとともに業務の無駄を削って価値創造にシフトする改革です。市川市DX憲章の策定に伴い、**DX化による業務の効率化や省人化を行うことにより日本が直面する人口減への対応策ともなっています。**

・現在、市川市ではDX事業として市民の目線に立ったサービスの提供を行うため、ワンストップサービスを実施しています。すなわち、窓口業務を「かたまり」としてワンストップで対応しています。

DXとは…テクノロジー(科学技術)を導入し活用するという意味だけでなく、テクノロジー導入に伴い企業が新たなスキル(能力、技術)を身につけ、働き方、ビジネスモデル全体を見直し変革していくこと。



このように市民の方々が個々に必要とする手続きの利便性に趣きが置かれた効率的な取り組みが行われています。

近年、著しくデジタル化が進み少子化に伴う人口減少に日本が直面していく中、芦屋市役所でもDX推進に伴う働き方改革を見直すことも必要になってきます。芦屋市では、65歳以上の高齢者人口は年々増加傾向にあります。本市の高齢化率は全国・兵庫県と比べ高い状況にあるため、デジタル化の導入の促進により市民の方が住みやすい芦屋となるよう市役所のあり方も考えていかなくてはなりません。

一般  
質問

あしや♡おたすけ部の取り組み 中面へ

一般  
質問

児童・生徒の体力低下の改善 中面へ

## “ユニバーサルマナーでつなぐ” あしや♥おたすけ部の取り組みについて

**質問 1** あしや♥おたすけ部発足につながった動機を教えてください。

**市長:** ワークショップ「日常を『ユニバーサルマナー』でつなぐ」がきっかけであり、このワークショップは、援助や配慮を必要とする多様な方々に向き合うための「相手の視点に立ち、行動する」マインドとアクションを学ぶことを目的に、障がい団体等のご協力のもと開催したものです。

**質問 2** 3回開催されたワークショップの詳細について教えてください。

**市長:** 1回目は、障がいに関する団体や行政の取り組みの紹介、知的障がい・発達障がいの疑似体験ワーク、当事者の体験や困りごとなどの意見交換を行い、2回目は、「助ける意思」があることを表すマークについて参加者で考え、活動の総称として「あしやおたすけ部」と名付けました。3回目は、2回目に考えたマークを基に活動を周知するための缶バッジをデザインし、作成しました。

**質問 3** おたすけ部缶バッジについての啓発、広報活動について教えてください。

**市長:** 缶バッジは、あしや市民活動センター及びこども家庭・保健センター2階の受付にてPRボードを設置し、随時配布しています。また、広報あしや12月号にも掲載し、広く周知を図っています。

**質問 4** おたすけ部缶バッジにおける今後の啓発、周知に至る活動について教えてください。

**市長:** 今後はヘルプマークの交付と併せた啓発、缶バッジ作成のボランティアなど、あしや市民活動センターが中心となって、地域とのつながりから活動を広げる取り組みを行っていきます。

### 私の思い

●私の第1回目的一般質問においては、ヘルプマークの周知について取り上げさせて頂きました。今回の3回目的一般質問ではヘルプマークに対するアンサーマークとなるあしやおたすけ部缶バッジについてお伝えし双方のより広範囲での理解や周知につながられるよう今後も活動のサポートを行っていきたくと考えております。



## 児童・生徒の体力低下の 改善について



**質問 1** 現在の小・中学校における一週間のうちの体育の授業時間を教えてください。

**教育長:** 学習指導要領に定められている標準授業時数に基づき、小・中学校ともに、おおむね週3時間を設定しています。

**質問 2** 児童・生徒の体力低下が急速に進んでいくこの状況をどのように受け止めていますか？

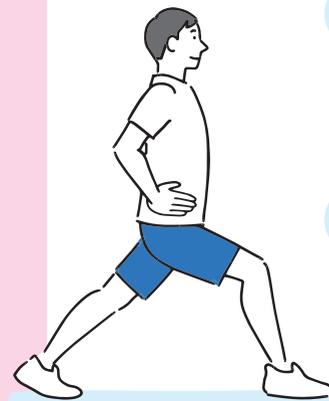
**教育長:** 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、本市でも児童・生徒の体力・運動能力に緩やかな低下傾向が見られ、コロナ渦での活動制限による影響を懸念しています。

**質問 3** 体力低下への改善策はありますか？

**教育長:** 運動が苦手な児童・生徒も運動が楽しいと思えるよう、体育の授業を工夫し、休み時間や放課後の運動につながるよう努めています。

**質問 4** 学校生活の中で今以上に運動をする時間を取り入れることの見込みはありますか？

**教育長:** 今以上に運動時間を確保することは困難ですが、児童・生徒が自ら体を動かす楽しさを感じられるよう取り組んでまいります。



### 私の思い

・現在小・中学校では教職員の過重労働の改善に対応した“ノー残業デー”が設けられています。その様な教育現場での児童・生徒の今以上の運動時間の確保はかなり困難な課題であると思います。学校教育の場として、教職員の負担業務にならないよう生徒の必要となる時間確保につながることを願っています。